

第9期介護保険事業計画用介護労働実態調査結果

●貴法人の介護サービス事業について今後どのような方向性をお考えですか。
 (回答法人数:49法人)

	増やす (拡大する)	減らす (縮小する)	わからない・ 変化なし
介護サービスの種類	3	2	44
事業所の規模	6	1	42
人件費総額	13	2	34

●貴法人の介護保険サービス事業所数と、介護保険サービス事業所に勤務している職種別の職員数、職員の過不足状況はどうですか。

事業所数

169 事業所

	職員数	職種別過不足状況 基準日:令和4年4月1日				
		不足している			足りている	
		慢性的に3名 以上不足して いる	慢性的に1~2 名程度不足し ている	職員の休暇等 により、不足す ることがある。	おおむね足り ている	十分足りてい る
介護員(資格の有無問わず)	1242	5	16	15	7	0
看護職員(看護師・准看護師)	234	0	8	13	11	3
介護支援専門員	151	0	5	5	16	3
社会福祉士	19	0	1	2	11	1
その他の資格(注)	115	0	3	4	15	1
上記を全体でみた場合	1761	5	5	6	7	1

注:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士

●前の問で「全体で見た場合」に「不足している」と回答した法人のみお答えください。不足している理由はどれですか。また、どのように対応されているか

理由	法人数	左の理由に対して取り組んでいる対応など
離職率が高い(定着率が低い)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・手当の支給、紹介事業社の情報集め ・できる限り施設に近い地域の方を採用することになっている ・研修体系の整備、計画年次の取得促進 ・セクハラ、パワハラ防止 ・面談(上司と)して話を聞くようにする
労働時間が長い	2	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務シフト調整
賃金が低い	7	<ul style="list-style-type: none"> ・給与改定等を行い、職員の処遇改善に取り組んでいる ・難しい(企業規模を大きくし、収益性を高めるしかない…) ・社会福祉充実計画にて一時金の支給 ・処遇改善(賃金改善、資格取得支援等) ・処遇改善加算、特定処遇改善の取得 ・手当の増額を検討しているが、収支バランスが崩れる。小規模特養の報酬の増額を
採用が困難である	28	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに正規職員の採用募集を行い、計画的に職員を採用するよう取り組んでいる。 ・人材派遣会社への紹介を依頼している ・ホームページの新設、学校訪問、ハローワーク ・資格費用補助 ・有料の人材紹介の動きの方が良いです。採用の費用負担が、人件費より大変です。 ・ハローワーク以外の人材紹介会社等の活用 ・専門学校、高等学校新卒を募集 ・知人の紹介 ・正職員への登用を検討中 ・採算を黒字とするように訪問看護件数を増やす ・応募がないので、安定所に声かけしている。
仕事がつらい(身体的・精神的)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりで精神的につらい分、メンタルケアを対応。ストレスチェックなどの推進 ・介護補助的な職員の採用 ・訪問時間の調整、内容を吟味する
その他	6	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員等から正規職員への登用制度を設け職員のモチベーションを高めるよう取り組んでいる。 ・立地条件(山間部にある)。対応は難しい(施設移動は不可能) ・希望通り休みが取りにくい ・希望者がいない

●貴法人での、過去1年間(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)の採用者数と離職者数を職種別に記入してください。

	採用者数	離職者数
介護員(資格の有無問わず)	152	167
看護職員(看護師・准看護師)	45	33
介護支援専門員	9	9
社会福祉士	1	1
その他の資格(注)	16	10

注:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士

●貴法人では、令和3年6月の事業収入を100とした場合、令和4年6月の事業収入はどのようになりましたかおおよその数字を記入してください。
※令和3年6月の事業収入がない事業所はご回答不要です。

令和3年6月の事業収入 令和4年6月の事業収入 %

●貴法人の令和4年6月の収支状況において、介護事業収入に占める人件費の割合を概算の数値でご記入ください。

介護事業収入に占める人件費の割合 %